

平成30年度 姉妹校等留学プログラム

第4回横浜高校生応援フランクフルト研修事業

(1) 学校・団体名/種類（派遣高校生的人数）

横浜フランクフルト友好委員会/海外研修（1人）

(2) 渡航先

国/都市：ドイツ/フランクフルト・アム・マイン市

外国の高校：フランクフルト市内のリート高校

(3) 期間

平成31年3月16日～平成31年3月27日（12日間）

(4) プログラムの趣旨・目的

次世代の若者が国際社会で活躍できるように育成支援することが、日本とドイツ両国の更なる絆を強固にしていく一助になると考えており、今後の友好事業の一環とする。

(5) 活動内容

- ドイツ（ヨーロッパ）の文化、歴史、生活習慣等に触れる
- 同世代の交流を通じて、相互理解を深める
- ドイツの環境保護分野等について学習する
- 外国人に対して、日本の歴史・文化を伝えられるように学ぶ
- 現地の歴史的建築物や都市活動の実態を見学し、多くの新知識を習得する

(6) 実績・成果

○派遣高校生 SYさん

今回ドイツの短期留学の話聞いた時は正直行くかどうか迷いました。その理由で大きかったことは、「英語圏でない」という事と「1人」という事でした。一昨年、学校の短期留学プログラムでイギリスへ行ったことはありましたが、その時は学校の友達や先生も一緒に、現地で行く学校もイタリアやフランスの高校生も一緒に通うインターナショナルの学校でした。しかし今回は現地に友達どころか顔見知りすらいなく、通うのも現地の高校だということに不安を感じていました。それに加え、英語圏ではない国へ行くのも今回が初めてだったのも不安要素の1つでした。しかし逆に考えれば一人で英語圏でない国にホームステイで行けばいい経験になり将来の視野も広がり、そして自分に自信が持てるのではないかと考え参加させて頂くことにしました。

現地についてから、最初の数日間は時差や緊張、慣れない環境に戸惑いましたが、少しずつホストファミリーとも会話が続くようになり、ドイツの文化について聞くだけでなく、日本の文化や自分のことも話せるようになって、コミュニケーションの楽しさを改めて感じられるようになりました。そして不安要素の1つでもあった現地の学校も、ドイツ語での授業は理解できません

でしたが、休み時間には日本に興味を持っている日本語が少し話せる子や、ホストファミリーの子の友達が積極的に話しかけてくれたので、そこでも会話を楽しむことが出来ました。

観光面では、フランクフルト市内でも新市街と旧市街で雰囲気がまったく違い興味深かったという事と、小旅行でライン川沿いのケルンやハイデルベルクを訪れ、そこでは日本の世界史で学習した様々な歴史的建築物などの知識が役に立ち、学んだことを自ら訪れることの楽しさを感じました。

そして、日本とドイツ、深いつながりがあるということをたくさんの方にお話しいただいたことも印象に残っています。例えば、日本で起こった福島第一原発事故からドイツでは原子力発電を使用しないということ、皇室の方に鞆を贈ったこと、ドイツには親日家の方が多くお花見や盆踊りが行われること、そして横浜市とフランクフルト市がパートナー都市として環境エネルギー・金融・観光の三点に重点を置き、お互いに協力していることなどです。私は特に、横浜市とフランクフルト市が環境エネルギーの面でも協力しているということに驚きました。

そして最後に横浜市フランクフルト事務所、日本総領事館、フランクフルト市庁舎などでお会いした方、コーディネーターの方々、両親など多くの方への感謝の気持ちを忘れずに、この経験を今後に生かしたいと思いました。